

# 北條直彦 trio

北條直彦 piano  
中川昌三 flute, etc  
加瀬達 contrabass

2019 07月06日(土)

開場 19:30  
開演 20:00~ ※night live  
(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)  
MC 3,500円+2drinks order

CAFE **B**EULMANS  
03-3484-0047  
info.cafebeulmans@gmail.com  
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



## 中川昌三

東京芸術大学卒業。学生時代よりジャズ界に身を投じ、ライブ活動を開始、ギル・エヴァンス・オーケストラを皮切りに様々なスタイルのバンドで経験を積む。キース・ジャレット、ヨーヨー・マ、リッチー・パイラーク、デヴィッド・ベノア、ドン・フリードマン、ジョージ・ムラーツ、エディー・ダニエルズ、リー・コニッツ、フィロー・マシャード、佐藤允彦、渡辺貞夫、大野雄二、渡辺春津美の各氏の他、数多くのプレイヤーと共演。日本国内外のコンサートやリサイタルも数多い。2002年中川にとって14枚目となる多録音による一人フルート・オーケストラ盤『バヴァーヌ』をリリース。他にCDブック『カーペンターズ特集』（アルソ出版）等がある。又、最近結成したブラジル音楽のグループ「FONTE」のアルバム『FONTE/Live at Corcovado』が2005年リリースされる。クラシックのアルバムに、『Dear Friend』『Magic Flute Tango』『Flute Music Today』『モーツァルトティック・ゲーム』『クロス・ウィンド/デジタル・バード』がある。常に、フルート音楽の様々な面を開拓し続けるパイオニアである。



## 北條直彦

東京芸術大学卒業。作曲、ジャズ研究、ピアノ、現代音楽からジャズ迄、クロスオーバーな守備範囲を持つ。東京文化会館、草月会館、府中の森芸術劇場でオーケストラ曲、室内楽等が演奏されている。ジャズの研究書としてコンテンポラリージャズピアノ（新主流は以降の現代ジャズ技法）第1巻、第2巻、第3巻、インプロビゼーションとアナリゼ。イントロとエンディングの技法（この二つは稲森康利との共著）、実践コード進行法Ⅰ、Ⅱ。ピアニストとして国際音楽の日フェスティバル、横浜ジャズブロンナード、横浜旭区ジャズフェスティバルでは名ヴィブラホーン奏者デイブ・バイク氏と共演。NHKスタジオ505、デジタル放送ミュージックバード他出演多数。CD『ワルツフォーデビー〜オマー・ジュトウ・ビルエヴァンス』『コンセプト』『インヴィテーション』等がリリースされている。国際ジャズ教育者協会日本支部常任理事等を歴任。現在、日本音楽舞踊会議理事、同公演局長。日本現代音楽協会会員。キーボードラボ主宰。



## 加瀬達

東京生まれポール・チェンバース、レイ・ブラウンなどを聴いて二十歳でベースを弾き始める。ジャズ・ベーシストの池田芳夫氏に師事するかたわら沢田靖司クァルテット、リチャード・パイン&カンパニーなどに参加。その後、甲斐恵美子、美野春樹、島健、羽田健太郎、トム・ピアソン、ジョン・海山・ネブチューン、ジャー・パンファン、Hi-Fi Set、山本潤子、小野リサ、島田歌穂、渡辺真知子、岩崎宏美、鮫島有美子、JUJU、福山雅治、オレンジ・ペコ、東京ジャズアンサンブル・ラボ、東京パノラマ・マンボ・ボーイズ、高橋達也リユニオンオーケストラなど経てライブハウスやコンサート、スタジオなどで活動中。また、NHK-BSの「BSジャズ喫茶」という番組のレギュラーを三年間務めた。